

# クリエイティブ部授業始まる

日下慶太さんの指導を受けながら、楽しく真剣に学ぶ生徒たち



## 三戸高1年生町魅力発信カリキュラム

### 伝える方法 真剣に学ぶ

三戸

青森県立三戸高校(直町年行校長)は、「クリエイティブ部」活動の内容を1年生の授業に組み込んだ「三戸町魅力発信カリキュラム」を開始し、初回の授業が4月30日に行われた。1年生25人は人気クリエイターの指導を受けながら、三戸町の魅力を伝えるポスターを作成し、7月の三高祭で発表する。(熊合勝之)

昨年度始動した「クリエイティブ部」はアイデア、デザイン、情報発信などの手法を学び、町や学校の課題解決を考える部活動。同校は、本年度も部としての活動を継続すると同時に、1年生の授業にも取り入れることにした。

指導には「クリエイティブ部」と同じく、商店街のPRポスターなどで実績のあるコピーライター・日下慶太さん(47)＝大阪市在住＝が当たった。

初回の授業で日下さんは、「広告には『永遠の邪魔者』なので、見てもらう工夫が必要」とした上で、「ただの自慢だと思われたいように、三戸町の魅力の『何を、どのように』伝えられるか

が大事になる」と伝えた。生徒たちは、今後三戸町の魅力を絞り込む練習として、「自分のキャッチコピー」を作成。にぎやかに会話しながら、自分の何をどのように伝えれば好感を持ってもらえるのか、真剣に考えた。授業終了後、全国募集で同校に入学した後藤瑠菜さん(15)＝千葉真流山市出身＝は、「自分を伝える方法を考える機会などなかったから、とても面白く、いい経験になった」と充実した様子。

日下さんは「周囲から『三戸高校は面白い』と評価されるよう、生徒の力を借りながら楽しく学んで結果を出したい」と意気込みを語った。